

THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN  
**佐土原ロータリークラブ週報**

地区大会 領事

1時

募金

2時

ロータリーを高めよ  
思いを尽くし 热意を尽くし

HONOR ROTARY  
WITH FAITH AND ENTHUSIASM



●次回卓話予定者

藤堂 孝一会员 (11月30日)  
佐土原町長 後藤 典夫氏 (12月7日)

ロータリー財団月間  
会員増強拡大月間

1990. 11. 16. (金) 第152回例会

本日のプログラム

1. 点鐘
2. ロータリーソング「手に手つないで」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 第273地区大会報告
9. 点鐘

**佐土原ロータリークラブ**

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-02 佐土原町大字下田島9883番地1  
TEL 0985-73-0015

会長 佐野 保

副会長 神宮寺 利夫

幹事 鈴木 正敏

会計 浜田 松太郎

会報責任者 垂水 敏雄

## 第151回例会記録

(平成2. 11. 9)

会長より

佐野 保

はじめに、前年度佐土原RCに数回もマークアップをしていただき、いろいろご指導をいただきました西都RCのビジター「中川正三氏」に感謝の記念品をお贈りいたします。

11月10日～11日の指宿市での地区大会に出席される会員の方は遠路ご苦労ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

11月11日～17日は「税を知る月間」です。年末調整の時期が近づきました。給与やボーナスから源泉徴収された源泉所得税を、12月に年末調整をして精算しますが、確定申告をしなければならない人や、確定申告をすると所得税が還付される場合があります。

世界の珍税としては、18世紀初め頃ロシアのピヨートル大帝がヒゲに課税しました。大帝はヒゲは悪習だとして切り取らせる政策をとり、また、ロシアはスウェーデンとの間で戦争を続けていたため、国の財政赤字を解消する方法としてヒゲなどに税金をかけたのでした。

幹事報告

鈴木 正敏

1. 宮崎西RCと小林中央RCから、11月23日は例会を休会するとの通知がありました。

2. 日南RC・日南中央RCの事務所の移転通知

が次のように来ています。

・11月5日から、日南市岩崎2-2-29  
川越ビル207号に移転

3. 第270地区（福岡・佐賀・長崎県）大会の案内が八幡RCから来ています。

4. 東京江北RCで作成した「ロータリーへようこそ」と題する、分かり易いロータリー案内書の見本が送ってきています。

親睦小委員会より 委員長 齊藤 数馬

11月セレモニーとして、11月17日に結婚記念日を迎える佐野 保会員に会長代理から記念品を贈呈して、心から祝福します。

◎佐野会員から多額のハッピーをいただきまして厚くお礼を申し上げます。

### ※ 11月受祝者のハッピーボイス

お祝いを戴き難うございます。

健康管理につとめ、人生をより楽しく、少しでも社会のために努めたいと思います。

佐野 保

### 会員卓話 齊藤 数馬

養鰻業がわが国で始められたのは、明治の中期である。川で獲った鰻の稚魚を、田に素掘りの池を作つて飼育し成長させてから市販するという程度のものであった。いわば自然の状態で養鰻をしていたのである。餌は、藪のサナギ・イワシ・サバ・サンマなどで、200gぐらいに鰻を成長させるのに2年～2年半を要した。

当時の養鰻主要県は静岡と三重で、昭和20年から愛知県がこれに加わった。

シラスウナギは当初は日本各地で獲れていたが、現在は四国と九州でしか獲れない。宮崎県で養鰻が始まつたのは昭和40年であった。

昭和45年にはハウス養鰻が導入された。水温を上げると毎の消化が早くなることから、ハウス養鰻に加温重油ボイラーを使うようになったのは本県が最初である。養鰻技術と施設の研究改善、配合飼料の高質化等が進んで、坪当たり20kgの生産ができるようになった。鹿児島県大隅地方では、コンピューター飼育管理による日本で最高の養鰻技術を駆使し、実に坪当たり200kgの養殖生産が可能となってきた。

第151回例会 11月9日（金）

### ビジタ一

宮崎RC 内村 時雄氏

宮崎中央RC 小牟田 利幸氏

西都RC 宇治野 稔氏・中川 正三氏

### 出席状況

会員数 17名

ホーム欠席者数 3名

ホーム出席者数 14名

ホーム出席率 82.35%

マークアップ者数 0名

欠席者名 今村・藤堂・井下